



'89
design
year

'89デザインイヤーの趣旨

1990年代を眼前にした今日、私達は時代の扉を開きつつあります。

私達の生活では、大量生産・大量消費を特徴とする産業経済の発展を背景として、「もの」の量的充足が進みました。今や、私達は、このような「もの」の充足の上に立って、「心」を充足する快適で潤いのある生活を希求しています。

他方、これを支える産業経済も、国際経済秩序の激変の中で、急速な構造変化にさらされています。このような中で、従来にも増して「創造力」の重要性が高まっています。国際的な人の交流機会が増大する中で、我が国に期待されるのは、世界に誇れる「クリエイティブ(創造的)」な活動の展開ではないでしょうか。

このような時代の息吹きの中で生活と産業のインターフェースであるデザインの可能性が問われています。

「デザイン」とは、人間の創造力、構想力をもって生活、産業、環境に働きかけ、その改善を図る営みと要約できます。つまり、人間の幸せという大きな目的のもとに、創造力、構想力を駆使し、私達の周囲に働きかけ、様々な関係を調整する行為と言ってもよいでしょう。

従って「デザイン」は、私達の日常生活を支える基本的な思想であると同時に、生活を基軸として技術、産業、地域社会、国際社会を結ぶ重要な絆としての役割を果たすことが期待されているといえましょう。しかし、このような期待に「デザイン」が応えていくためには、単に従来のデザインの延長線上で考えていくことでは不十分であり、新たな飛躍が求められます。

'89デザインイヤー運動は、このような認識を踏まえ、「デザイン」を通じて新しい時代における生活と産業、ひいては文化のあり方を、国民各分野で問い直そうとする運動です。

1990年代を準備する年である1989年こそ、このような運動展開にふさわしい年といえましょう。

'89デザインイヤー運動の展開

'89デザインイヤー運動は、「デザイン」を通じて私達の生活と産業と文化のあり方を国民各分野で問い直そうとする運動です。

'89デザインイヤーでは、

- ①デザインを通じて国民生活の質的向上を図る
- ②デザインを通じて地域活性化を図る
- ③デザインを通じて産業の高度化を図る
- ④デザインを通じて国際社会に貢献する活動を展開します。

'89デザインイヤーの趣旨に賛同し、運動に参加する各事業主体は、'89デザインイヤーの期間(1989年4月～1990年3月)中に、それぞれの立場から主体的に事業を実施することが期待されます。

'89デザインイヤー参加事業

'89デザインイヤーの運動の期間中に、地方自治体、各種団体、企業等が運動に参加し、主体性をもった事業等を実施、展開することを期待しています。

'89デザインイヤーフォーラムは、これらの事業を「'89デザインイヤー参加事業」として位置づけ、諸事業の相乗効果を高め、'89デザインイヤー運動の輪を大きく広げます。また、'89デザインイヤーのロゴ・シンボルマークを積極的に活用いただくことにより、'89デザインイヤー運動がより一層拡大、発展することを期待しています。

'89デザインイヤーフォーラム事業

'89デザインイヤーの推進母体である'89デザインイヤーフォーラムは、次の事業を行います。

●日本デザイン賞

'89デザインイヤーのシンボリック事業。デザインマインド豊かな事物を全国の「日本デザイン賞推薦委員」を通じて社会のすみずみから発掘し、顕彰することにより、デザインの社会的、経済的意義を明らかにする。審査は、「日本デザイン賞審査委員会」により、平成2年2月に行なう予定。

●デザインワークショップー地域別デザイン研究会

新たな地域のグランドデザイン形成へ向けて全国15ヶ所を実施。全体テーマは「クリエイティブ・リストラクチュアリング」。開催地域/岩手県、山形県、新潟県、横浜市、山梨県、静岡県、福井県、堺市、鳥取県、福山市、山口県、高知県、北九州市、佐世保市、熊本県

●青少年デザイン提案コンクール

豊かな発想を有する青少年から身近なデザイン提案を募集し、顕彰することにより、21世紀を担うデザインマインド豊かな人材を育成する事業。1988年度中に選定された入賞作品をモデル化し、全国的に巡回展示予定。

'89デザインイヤー

期間＝1989年4月1日～1990年3月31日

主催＝'89デザインイヤーフォーラム

後援＝通商産業省、建設省、運輸省、外務省、文化庁 問い合わせ先＝'89デザインイヤーフォーラム事務局・財団法人日本産業デザイン振興会 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル別館4階 TEL：03-435-5626・5627